

社会科学習指導案

- 1 日 時 平成 29 年 2 月 15 日 (水) 第 5 校時
- 2 学 年 第 6 学年 1 組 男子 9 名 女子 11 名
- 3 単元名 国際連合のはたらきと日本人の役割
- 4 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領第 6 学年内容 (3) イ「我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き」を受け設定したものである。我が国の国際交流や国際協力の様子、国際連合の役割について学習することで、国際理解や国際協力の精神などの地球市民としての資質や能力の育成を図ることをねらいとしている。そして、単元の最後では、学んだことを生かし、国際協力のあり方や自分にできることについて考えたり、話し合ったりすることができる教材である。

(2) 児童観

本学級の児童はこれまで、日本の歴史や政治について、意欲的に学んできた。授業では、資料を効果的に活用して、資料を見て分かることや考えられることを進んで発表している。単元末テストでは、1, 2 学期共に平均正答率が 91%であった。特に「観察・技能」の項目は 95%、「知識・理解」の項目は 91%と、正答率が高かった。しかし、調べたことをもとにそれぞれの事実によどのような意味があるのか等、自分の考えをもつことが苦手な児童もいる。社会的事象に関心がもてず、思考を深めることができにくいことが要因として考えられる。また、国際協力や国際連合の活動について新聞等で読んだことがある児童は数名であり、国際社会について、関心をもつまでには至っていない。

(3) 指導観

指導に当たっては、児童に「国際連合はどのような活動をしているのだろうか」という学習課題について興味をもたせること、さらには、その学習活動を追究していくために、平成 25 年 7 月 12 日、国際連合本部で教育の重要性を訴え演説したパキスタンのマララ・ユスフザイの新聞記事を活用する。当時 16 歳の彼女が国際連合本部で演説を行った意義について考えさせていきたい。そして、安全保障理事会の働きやユニセフ、ユネスコなどの活動について具体的に調べ、国際連合が、世界の平和維持のための活動を行っていることや平和な国際社会の実現に向けて努力していることをとらえさせるようにする。また、国際連合以外にも平和の実現や地球環境の保全に向けて交流や協力を行っていることにも目を向けさせ、調べる活動につなげていきたい。そして最後に、この単元の初めに学んだマララさんの活動をふりかえらせ、国際協力についてのあり方や自分にできることについて考えをもち、新聞にまとめる活動を取り入れていきたい。

(4) N I E 活用の意図

単元のはじめに、国際連合について、どのような活動をしているのか興味をもち、追求させていくために、新聞の記事を用いる。その理由として、映像よりも新聞記事の方が、児童にとってだれがどこで何を行ったのかという概要が捉えやすく、根拠や背景、関係する事項等、詳しく知ることができることが挙げられる。そして国際協力について、児童が興味をもって調べる際にも、資料の 1 つとして、役立ち、今後の学習に生かすことができると考え、N I E を活用した。

5 単元の目標

我が国の国際交流や国際協力の様子，国際連合の働きに関心を持ち，意欲的に調べ，これからの我が国の役割について考えようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】

世界の平和や発展のために，日本が現在どのような役割を果たしているのかについて，国際交流や国際協力，国際連合の具体的な取組を例に考え適切に表現することができる。

【社会的な思考・判断・表現】

我が国の国際交流や国際協力の様子，国際連合の働きについて，調査したり地図や各種の資料を活用したりして，必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりすることができる。

【観察・資料活用の技能】

我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きを理解することができる。 【社会的事象についての知識・理解】

6 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
我が国の国際交流や国際協力の様子，国際連合の働きに関心を持ち，意欲的に調べ，これからの我が国の役割について考えようとしている。	世界の平和や発展のために，日本が現在どのような役割を果たしているのかについて，国際交流や国際協力，国際連合の具体的な取組を例に考え適切に表現している。	我が国の国際交流や国際協力の様子，国際連合の働きについて，調査したり地図や各種の資料を活用したりして，必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。	我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きを理解している。

7 本単元において育成しようとする資質・能力

【知識】 社会的事象を捉え，分析する力

【スキル】 資料を活用する力

【意欲・態度】 国際交流や国際協力について興味を持ち，自ら考えようとする意欲

【価値観・倫理感】 他の意見を聴き，受け容れる共感力

【NIE】 記事の内容と社会の状況を関連付けて考える力

8 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	学習内容	評価					
			意欲	思考	技能	知識	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	1 本 時	課題の設定 マララさんがこれまで行ってきた活動を通して，国際連合の働きに興味をもつ。 NIE	◎	○			国際連合の活動について興味を持ち，働きについて進んで考えている。 (行動観察・ノート)	記事の内容と社会の状況を関連付けて考える力（観察・ワークシート）

二	2	情報の収集 国際連合の目的や働きについて調べることを通して、国際連合が世界の平和維持のために活動を行っていることについて知る。N I E				○	安全保障理事会の働きや国際連合の取組について調べることを通して、国際連合が世界の平和維持のために活動を行っていることを理解している。 (行動観察・ノート)	資料を活用する力 (観察・ノート)	
	3	ユニセフの活動について調べ、平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きを知る。N I E				○	ユニセフの活動について調べ、平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きについて理解している。 (行動観察・ノート)	資料を活用する力 (観察・ノート)	
	4	整理・分析 課題の設定 現在の地球環境の問題とその対策について調べ、国際連合が中心となり、各国が協力して取り組む必要があることをとらえる。N I E			○		現在の地球環境の問題とその対策について調べ、国際連合が中心となり、各国が協力して取り組む必要があることを考え、適切に表現している。 (行動観察・ノート)	社会的事象を捉え、分析する力 (観察・ノート)	
	5	情報の収集				○			
	6	国際交流や国際協力について調べ、まとめる。N I E					○	国際交流や国際協力について調べ、適切にまとめている。 (行動観察・ノート)	資料を活用する力 (観察・ノート)
	7	整理・分析 これまで調べた国際交流や国際協力について紹介し合い、思ったことを話し合う。N I E			○			これまで調べた国際交流や国際協力について思ったことを進んで話し合っている。(行動観察・発表・ノート)	他の意見を聴き、受け容れる共感力 (観察・発表・ノート)
	三	8	まとめ・創造・表現 ふりかえり マララさんのこれまで行ってきた活動や単元全体の学習を振り返り、日本人の役割として、自分に何ができるのかを考え、新聞にまとめる。N I E	○	◎			これまでの学習をもとに、国際連合の働きや国際協力の様子、人々の願いを関連づけて考え、根拠を示して表現している。 (行動観察・新聞)	国際交流や国際協力について興味をもち、自ら考えようとする意欲 (観察・新聞)

9 本時の学習

(1) 本時の目標

国際連合の活動について興味をもち、その働きについて考えることができる。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

(2) 観点別評価規準

◎社会的事象への関心・意欲・態度

国際連合の活動について興味をもち、その働きについて進んで考えている。

(3) 準備物

マララさんの写真，マララさんの経歴の年表，拡大した新聞記事，国際連合本部の拡大写真，演説の映像，世界地図

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点（・） ◆配慮を要する児童への支援		評価規準 教科の指導事項(○) 資質・能力(★) (評価方法) 【NIEで育む力】
		T 1	T 2	
導入	1 マララさんについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> マララさんの顔写真を提示する。 マララさんの経歴やノーベル平和賞を受賞していることを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> マララさんの簡単な経歴の年表を提示する。 	
展開	<p>考える</p> <p>2 マララさんの新聞記事から、なぜ演説を行ったのかを考える。</p> <p>3 本時のめあての確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> マララさんの新聞記事を示し、その事柄をもとにしてワークシートに考えをまとめることを伝える。 ◆記事の見出しを手掛かりに伝えたかったことを考えさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を読み、マララさんについて分かるところに線を引かせる。 パキスタンの教育の状況についても補足する。 	<p>【ことばの力】</p> <p>記事の意図を考えて読む。 (ワークシート)</p>
	マララさんが演説を行った場所が、なぜ国際連合であったのかを考えよう。			

	<p>深める</p> <p>4 マララさんが演説を行った場所がなぜ、国際連合であったのかを考え、話し合う。</p> <p>グループ→全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> マララさんの演説の内容から予想させる。 記事の中の「世界の若者が集まる会合」や「マララ・デー」という言葉に着目させる。 グループで話し合ったことをホワイトボードで示し、発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際連合での演説の様子を伝えるビデオや国際連合本部の写真から、さまざまな国が参加していることに気付かせる。 共通点を見つけさせ、キーワードになる言葉を赤線で囲んでおく。 	<p>★記事の内容と社会の状況を関連付けて考える力（観察・ワークシート）</p> <p>○国際連合の活動について興味をもち、働きについて進んで考えている。</p> <p>（観察・発表・ワークシート）</p>	
<p>まとめ</p>	<p>まとめる</p> <p>5 本時の学習をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 板書してあるイメージ図やキーワードをもとに、まとめを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> キーワードをもとに、国際連合はどんなところなのかをイメージ図にまとめ、板書する。 		
	<p>児童のまとめ例</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際連合は、世界の人々が仲良く平和に暮らせることをめざしているのだから、そこで演説をしたのではないかと思う。 世界の子どもがみんな学校に行き勉強できるようにしたいので、たくさんの人が集まっている国際連合の場で演説したのではないかと思う。 				
	<p>見通す</p> <p>6 今後の学習の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次時から国際連合の目的や働きについて調べていくことを確認する。 単元の最後には、自分に何ができるのかを考え、新聞に表すことを知らせる。 			

(5) 板書計画

国際連合のはたらきと日本人の役割

めあて マララさんが演説を行った場所が、なぜ国際連合であったのかを考えよう。

マララさんの顔写真	拡大した新聞記事	<u>マララさんの国際連合演説</u>	<u>演説を行った場所…国際連合本部</u>		国際連合本部の写真
マララさんの経歴 (年表)		<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる子どもに学校と教育を求めたい。 ・命をかけても、女子も学校に行けるようにしていきたい。 ・武器で人をだまらせることはできない。 	1 班	2 班	
			3 班	4 班	
			5 班	6 班	

まとめ (予想)・国際連合は、世界の人々が仲良く平和に暮らせることをめざしているの
で、そこで演説をしたのではないかと思う。
・世界の子どもが学校に行って勉強できるようにしたいので、たくさん
の人が集まっている国際連合の場で演説したのではないかと思う。

めあて

マララさんが演説を初めて行った場所がなぜ国際連合であったのかを考えよう。

Blank lines for writing answers to the objective.

まとめ

国際連合は、

Blank box for writing the location of the UN.

所

なので、マララさんは演説を行った。

マララさん 国連初演説

「全ての子に教育を」

【ニューヨーク共同】



12日、ニューヨークの国連本部で演説するマララ・ユスフザイさん(共同)

パキスタンで女子教育の権利を求め、イスラム過激派に銃撃されたイさん(16)が12日、世の会合に出席した。私

は全ての子供が教育を受ける権利のために「ここにいる」と述べ、銃弾で人をたまたらせることはできないと訴えた。公の場でのマララさんの演説は初めて。12日はマララさんの16歳の誕生日。国連はマララさんの取り組みや銃撃後の不屈の精神をたたえて「マララ・デー」と名付け、世界

各地の若者リーダーのほかに、国連の潘基文事務総長、国連世界教育特使のフラン前英首相らによる会合を企画した。

マララさんはイスラム武装勢力「パキスタンのタリバン運動(TTP)」が女子教育を抑圧していることなどをフロゲで告発。昨年10月、下校途中に銃撃された。英国に搬送され、複数回の手術を経て一命を取り留め、高校に通えるまでに回復した。ノーベル平和賞候補に名が挙がるなど、世界中から称賛を受けた。

(中国新聞 平成25年7月13日)